

網田コミュニティセンターしとらすの特徴



網田コミュニティセンター しとらす落成式



1月23日(木)、宇土市西部エリアの防災拠点となる網田コミュニティセンター「しとらす」の落成式が開催されました。落成式には、地域住民約80人が参加しました。

コミュニティセンターには、網田支所が併設され、平時は公民館、災害時は避難所となるような機能を備えています。研修室や調理室、シャワー室などがあり、自家発電設備やマンホールトイレを設置しています。避難所として100人ほど避難することが可能となっています。

網田コミュニティセンターの愛称「しとらす」は、網田小3年の村上前門さんが考案し、地区の名物のかんきつ類を表す英語に、「～している」を意味する熊本弁をかけてあるそうで、「みんなで何かをやろう、作り上げよう」という思いが込められています。

網田コミュニティセンターしとらすの特徴

施設設備	①研修室(約90人収容)、②会議室(約30人収容)、③多目的室、④調理室(調理台4台)、駐車可能台数94台(軽自動車含)、屋外トイレ
防災機能設備	災害などによる停電時も発電機による電力供給が72時間連続運転可能 ⑤災害時に使用できる雨水を利用したマンホールトイレを2基設置 ⑥シャワールームを2基設置 ⑦備蓄倉庫の設置 ⑧かまどベンチを2基設置
環境対策設備	⑨センター内の空調に、地球にも人にもやさしい輻射式冷暖房システムの「エコウィン」を導入し、CO2と電気代を削減 5kwのソーラーパネルを設置し館内の照明などに活用 EV車(軽自動車)を導入し、通常時はCO2削減、災害時は移動できる蓄電池(20KW)として活用
情報通信機能設備	Free Wi-Fiの整備、170インチの大型モニターの設置(研修室)